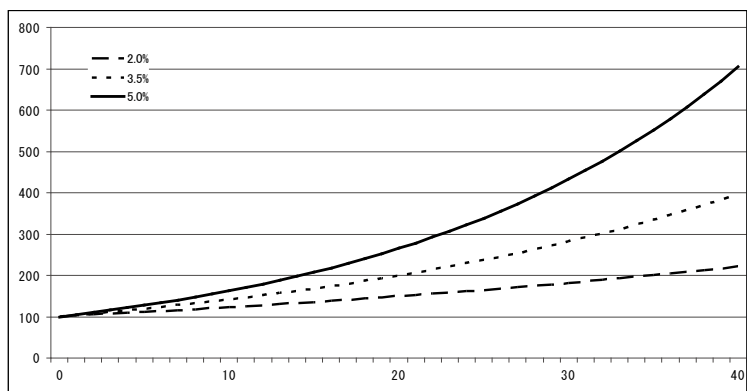


■複利のリターン



■**人生の3ステージ**

大鵬であるあなたの人生の長旅には、3つの局面があります。まず最初が「学び」の時代。次が「働き」の時代。そして最後に、「遊び」の時代が来るのです。

・**学びの時代**

「学び」の時代は、生まれた瞬間からスタートします。わたしたちは、食べることを覚え、ハイハイを覚え、歩くことを覚えます。そして、学校という集団生活のなかで、生きるための基礎知識と人づき合いを学び、通常20歳前半で社会に出ます。社会に出たからと言って、直ぐに働きの時代が来るわけではありません。どの世界でも、最初の10年ぐらいは社内外の多くの先輩を見習って腕を磨くことになるのですから。

学びの時代の目標は、「自分が生涯をかけて打ち込みたいと思える分野を見つけ、その知識をできるだけ深めること」にあるのです。

この時代には、あまりおカネは持っていないかもしれませんが。しかしこの学びの段階で、投資というものも学び、少しずつで

■複利の効果

第2部で、みなさんには投資という分野で老荘思想をどのように生かせるかを知っていただけたことと思います。リラックス投資の長旅に出発するあなたは、鯉が変身した大鵬のようなものです。北の海から南へと長い旅が始まるのです。

リラックス投資にとって、時間は強い味方です。そして、その強力な武器のひとつが「複利」です。投資を行い、利息、配当金や分配金を受け取ります。ただし、これを使ってしまっているのは、いつまでも元本は同じです。このように元本が生み出すリターンを使ってゆく方法を「単利の投資」と言います。一方、次の期に前期のリターンを元本に加えて投資するのが「複利の投資」です。

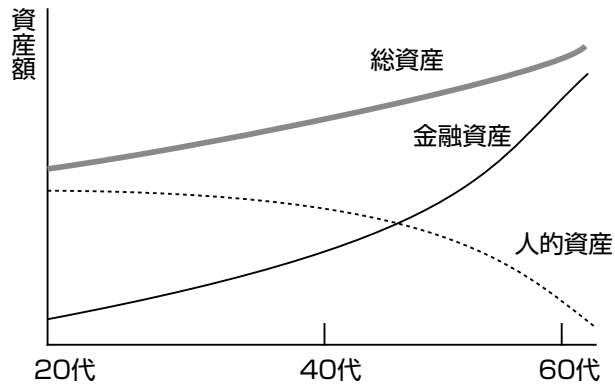
複利の投資は非常に大きな効果があります。次ページの表をご覧ください。これは2%、3.5%、5%という3つのリターンにつき1万円を複利で投資したとき、どのよう増えるかを示したものです。

例えば、30年のところを見てください。2%という低い金利での運用でも、1万円が281万円に、5%なら432万円になっています。3.5%という低い金利での運用でも、181万円になるのです。

ここで皆さんは、2つのことに気づかれると思います。

ひとつは、期間が長くなるほど「尻上がり」で資産が増えるという点。そしてもうひとつが、わずかなリターンの差が大きな違いを生むということです。もし、これを単利で投資をしていたなら、手元のおカネはずっと100万円のままですから、複利の効果がいかに大きいかお分かりいただけるでしょう。

■資産内容



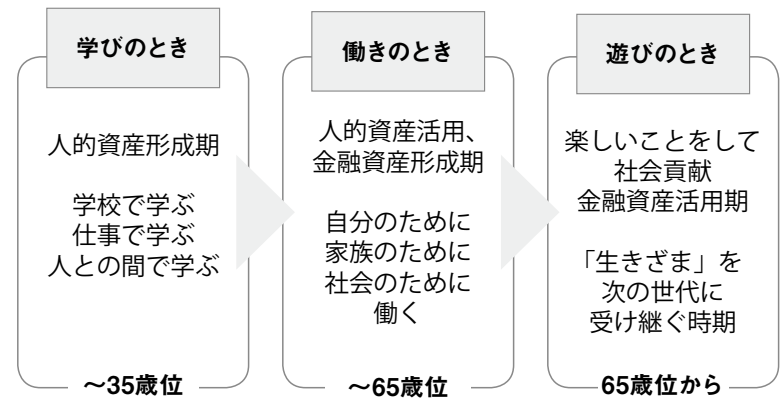
たり、仕事を通じて良い社会づくりに貢献できる時期でもあります。特に仕事では、その分野での専門性を磨いて「○○業界に△△（あなた）あり」と言われる存在になれるチャンスなのです。本当のプロとしての腕を磨けば、老後の心配は少ないのです。真のプロになることは、最高の自分年金なのです。

債券が利息を生み出すように、株式が配当金を生み出すように、あなたという資産は収入を生み出します。それでは、あなたの資産価値はどれくらいあるのでしょうか。

それは、これから生涯にする給料をいまの価値に引きおとしたものの合計になります。これを「人的資産価値」といいます。当然、その価値は、働く残りの期間が短くなるほど低下していきます。そして、収入がゼロになったとき、あなたの人的資産価値はゼロになります。

ここに、働きの時代にしっかりと投資をしておくことが大切である理由があります。つまり、毎月、受け取る給与の一部で将来のために投資をしておく。株式や債券の積立投資をしておくのです。そうすれば、一方で自分の人的資産としての価値は低下し、いずれゼロになっても、金融資産への投資残高は複利

■人生の3ステージ



も経験しておくことは重要です。ともすれば無駄遣いしてしまいそうなおカネで、少額でも積立投資を始めてみることは、あなたの老後にとっても有益になることでしょう。

ただし、短期投資や投機にはまってしまい、仕事が手につかないなどということになると本末転倒。あくまで、基盤としての「仕事をしっかりと学ぶ」ことが、この時期の使命なのです。

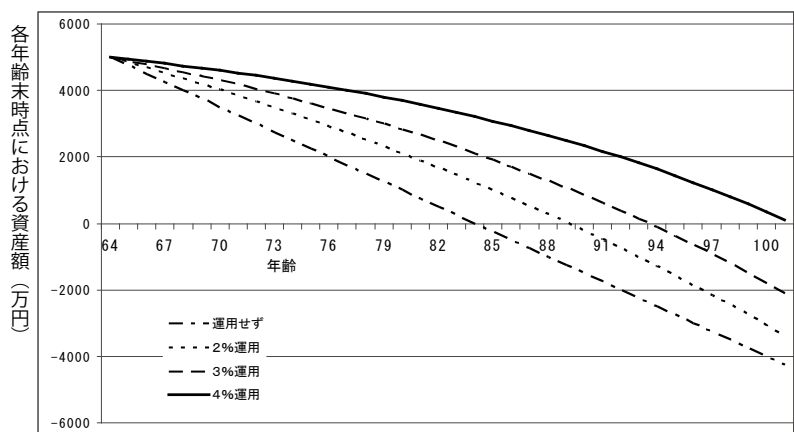
・働きの時代

「働き」の時代は30代後半から60代前半まで、つまり退職するまでの期間です。この間、家庭を持ち子育てをする方も多いことでしょう。そしてこの時期は、自分の老後を支えるための経済基盤を作る重要な時期でもあるのです。

給料もそれなりに増えるでしょうが、子供の教育費に加えて住宅ローンなどを抱える方も多い。自分の老後を考えると同時に、親の介護の心配も出てくる。そのうえ、忙しい。「ミドルはつらいよ」を実感している方も多いでしょう。

しかし、つらいことだけではありません。人脈形成ができ

■各年初に250万円ずつを引き出すと仮定



で増加していますから、その投資先企業があなたの代わりに一生懸命に働いてくれ、あなたのもとにリターンを戻してくれるわけです。

反対に、このような金融資産への投資をしていないと、少なくとも経済的には悲惨な人生になってしまいかもれません。

・遊びの時代

収入よりも支出が大きくなる時点から、人生は徐々に「遊び」の時代となります。「遊び」というと、ダラダラと何もしないで暮らしているようなイメージがあるかもしれませんが、しかし、本当の遊びというのは、自分にとって楽しいことをすると、それがそのまま世の中のためになることを言います。

自分のペースで働き続ける人もいますでしょう。しかし、それは生活のためではなく、自分を世の中で役立てるためなのです。

この時代は、これまで蓄積してきた金融資産を賢く運用しながら取り崩していく時期です。

仮に65歳になったときに、5000万円の資産があるとします。これを現金のまま金庫に入れて、毎年250万円ずつ引き出すと、84歳のときに残高は確実に0円になります。しかしもし、2%で運用すれば89歳まで、3%なら93歳、4%なら101歳まで資金がもつことになります。

わずかな利率でも、運用しながら使うのと、ただ現金を引き出していくのでは大きな違いがあるのです。

このように人生を通しておカネや投資はついて回ります。人生のあらゆる時期をおカネとともに歩む

ことを意識してください。そして、そのためには長い時間と市場全体を味方につけることが何よりも重要なのです。

人生のどの世代にいてもリラックス投資はできます。大鵬のような大きな視座で、現在の自分が人生のなかでどこに位置づけられ、何をしなければならないかを俯瞰することが大切なのです。

■投資信託とは何か

リラックス投資では、投資信託が重要な役割を果たします。そこでまず、投資信託の基礎について、解説していきます。

投資信託は、「投信」や「ファンド」と呼ばれ、たくさんの人から投資資金を集めて、それを専門家が運用する仕組みです。ひとりずつの投資資金は少額でも、多くの人数が参加することでたくさんのおカネが集まり、個人では難しい分散投資ができるのです。

また、専門家が運用するので、知識が不十分だったり